



小川小 道徳だより

第1号 平成26年9月4日発行

道徳だより発行にあたって

学校における道徳教育は、子どもたちが人間の在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育てていくことを目指しています。そこで、道徳の時間（週に1時間、年間35時間位置づけられています。）を要として、学校の教育活動全体を通して子どもたちの道徳性を育む指導を行っています。道徳性は、日々の生活の中で自覚し、実践にもつながっていきます。そのため、学校だけではなく、地域や家庭など子どもたちが関わる中で生かされていくものです。子どもたちが日々の生活で学んだことを生かして実践できるように、さまざまな体験とつなげていきたいと考えています。

この「道徳だより」では、学校での道徳の時間や体験活動の様子を紹介していきます。また、道徳の時間を中心とした学校での学びや学校生活の中での姿、また、保護者の皆様にご理解していただけるような内容を掲載していきたいと思ひます。また、これをきっかけに、ご家庭でも、お子さんを交えて話し合う機会が増えればという願いも込めています。今後とも、よろしくお願いいたします。

今年度の重点目標と道徳の時間

道徳の時間には、たくさんの内容項目があります。その中で、今年度の小川小学校の重点目標は、児童の発達段階に応じて、次のように設定しています。

低学年

- ・ 基本的な生活習慣を身につける。
- ・ だれに対しても温かい心で接し、親切にする。
- ・ 約束やきまりを守り、みんなのものを大切にする。

中学年

- ・ 節度のある生活をする。
- ・ 相手のことを思いやり、親切にする。
- ・ 約束やきまりを守り、公德心をもつ。

高学年

- ・ 生活習慣の大切さを知り、節制に心がける。
- ・ 相手の立場に立って、親切にする。
- ・ 権利を大切にし、進んで義務を果たす。



道徳の時間と豊かな体験をつなげていきます。

・ JRC活動を中心とした学校での活動
・ 学校行事 等



道徳の時間
道徳的価値について感じたり考えたりします。



地域や家庭での体験活動

☆今後、子どもたちの学校生活の中での、心があたたかくなる出来事を紹介していきます。
ご家庭でのお子さんの「ちょっといい話」がありましたら、お知らせください。